

第155回 日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会

プログラム

2023年2月25日(土曜日) 10:00~17:00 (WEB開催)

10:00-10:05

開会あいさつ

例会長:香西康司(東京都立多摩総合医療センター 血液内科)

10:05-10:45

特別講演1 「緊急大量出血時の最適輸血療法の検討」

座長:藤田 浩(東京都立墨東病院 輸血科)

演者:宮田茂樹(日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

10:50-12:10

シンポジウム1 「臨床輸血看護師の取り組み」

座長:小林祥一(埼玉医科大学国際医療センター 看護部)

日高由梨(東京都立多摩総合医療センター 看護部 4S病棟)

SY1-1:輸血療法における臨床輸血看護師の取り組み

猪越ひろむ(千葉大学医学部附属病院看護部放射線・中央診療施設)

SY1-2:臨床輸血看護師としての活動と今後の課題

水垂純子(東京都立多摩総合医療センター 看護部 5S病棟)

SY1-3:訪問診療クリニックにおける臨床輸血看護師の役割

大村伸政(やぐちメディカルクリニック)

SY1-4:学会認定・臨床輸血看護師の取り組みについて

小林祥一(埼玉医科大学国際医療センター 看護部)

SY1-5:輸血ラウンドチームでの臨床輸血看護師の活動報告

元木 忍(東京都立墨東病院 看護部 5C病棟)

12:10-13:05 休憩

13:05-14:25

シンポジウム2 「輸血のトレーサビリティ構築への取り組み」

座長：田中朝志(東京医科大学八王子医療センター臨床検査医学科・輸血部)
浜口 功(国立感染症研究所 次世代生物学的製剤研究センター)

SY2-1:日本でのトレーサビリティ構築の現状と展望
松岡佐保子(国立感染症研究所 次世代生物学的製剤研究センター)

SY2-2:献血者と献血血液の安全性確保とコロナ禍での対応
澤村佳宏(東京都赤十字血液センター)

SY2-3:大規模病院での輸血副反応情報の収集
栗林智子(東邦大学医療センター大森病院 輸血部)

SY2-4:在宅クリニックでの輸血副反応情報の収集
山口幸代(トータス往診クリニック)

14:30-16:00

一般演題

座長：佐藤智彦(東京慈恵会医科大学付属病院 輸血・細胞治療部)
森山昌彦(東京都立大塚病院 検査科)

- 1: 「輸血日当直者に向けた未交差での異型適合血使用に関する取り組み」
芝宮かおり(順天堂大学医学部附属練馬病院 臨床検査科 輸血室)
- 2: 「当院における輸血用血液製剤の分割運用の現状(第2報)」
秋山小雪(自治医科大学付属病院 輸血・細胞移植部)
- 3: 「当院における T&S 推進と廃棄血削減の取り組みについて」
山藤菜々子(新潟大学医歯学総合病院 輸血・再生・細胞治療センター)
- 4: 「クリオプレシピテート作製での簡易サイホン法の検討」
西村滋子(東京都立墨東病院 輸血科)

5: 「MTP(massive transfusion protocols)を導入して」

篠田大輔(東京都立多摩総合医療センター 血液内科)

6: 「定温搬送装置サルムFZによるクリオプレシピテートの保管・再凍結に関する検討」

藤田 浩(東京都立墨東病院 輸血科)

7: 「末梢血幹細胞採取において血管穿利用エコーを用いた事前の血管評価は有用か」

秋山裕輝(自治医科大学附属病院 臨床工学部)

8: 「末梢血幹細胞採取・調製の受託と地域内連携について」

長村登紀子(東京大学医科学研究所附属病院セルプロセッシング・輸血部)

16:00-16:10 休憩

16:10-16:50

特別講演2 「CAR-T 療法の現状と将来」

座長:香西康司(東京都立多摩総合医療センター 血液内科)

演者:下山 達(がん・感染症センター 都立駒込病院 腫瘍内科)

16:50-17:00

閉会あいさつ

例会長:香西康司(東京都立多摩総合医療センター 血液内科)

支部長:岡崎 仁(東京大学医学部附属病院 輸血部)

第155回 日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会 事務局

東京都立多摩総合医療センター 検査科 輸血

〒183-8524 東京都府中市武蔵台2-8-29

電話 042-323-5111(内線4881)

FAX 042-323-5230 (直通)

E-Mail tm_155reikai@tmhp.jp